

## Y06c 和歌山大学 12m アンテナを用いた天文教育の試み

佐藤奈穂子, 貴島政親, 小谷朋美, 森田克己, 秋山演亮, 尾久土正己 (和歌山大学)

和歌山大学では、天文コミュニティの基盤強化を目指し、電波望遠鏡を用いた天文普及教育を行ってきた。我々は、これまでに、直径 8m や 1m の電波望遠鏡を天文教材として用いた、研究開発や、大学生や高校生を対象とした天文教育、教材開発などに取り組んできた。その発展として、2011 年、和歌山大学キャンパス内に、直径 12m の電波望遠鏡を設置し、現在、新たな教育活動を行ってきている。本稿は、この 12m 電波望遠鏡を用いて、2011 年度・2012 年度に行った天文普及教育活動の報告と今後の計画についての紹介をする。

2011 年度の活動としては、大学生を対象とした「宇宙プロジェクトマネジメント入門」授業の開講、中学生・高校生を対象とした「宇宙まるまる体験講座」などを行った。2012 年度の活動として、大学生・高校生を対象とした「パラボラガール&ボーイ養成講座 2012」、小学生を対象とした「ARISS スクールコンタクト」、小中学生を対象とした「コズミックカレッジ」、超小型衛星 RAIKO 受信などを行った。

また、毎年、大学の主催イベント「公開体験学習会」や「おもしろ科学祭り」にも出展をしている。大学見学コースにも組み込まれており、高校生・中学生の課外活動の一環として、電波望遠鏡の体験を提供している。

今後、2013 年度の活動予定は、前年度に引き続き「パラボラガール&ボーイ養成講座」や「コズミックカレッジ」の開講に加えて、藤下光身氏（東海大学）、岩下篤氏（Udayana Univaersity, Indonesia）、鳴沢真也氏（西はりま天文台）との共同研究による SETI 観測や銀河中心の HI 観測を予定している。また、月に一回の学内見学会も始めた。気象衛星 NOAA の受信実験、宇宙防災講座 2013 の開講、アマチュア無線を活用した EME や OH メーザー観測など、幅広い活動を目指している。